

平成29年度研究テーマ **確かな学力を支える読解力の育成**

平成29年度 大津町小中学校共通実践事項

- (1)話し手に体を向けて聞く (2)「めあて」と「まとめ」の明示  
 (3)家庭学習の習慣化 (4)県学力調査に向けた課題克服プリントの計画的活用

4月11日(水)

徳淵

今年度も校内研通信を発行していきます。(昨年度13号程度だったので、今年は20号をめざして…。昨年度の分は室小ホームページの研究ブログにアップしてあります！)

校内研通信では、校内研で検討したものを取りまとめたり、授業研の再分析を載せたりします。内容はざっくりばらんに、いろいろなことを先生方に紹介できればと思います。

ぜひ気軽に読んでください！発行したい先生も大歓迎です(^o^)

さて、今年度の第1号は4月5日(木)の校内研後に各学年で検討していただいたことについて紹介します。どの学年も授業規律について検討されました。4月とゴールデンウィーク明けの5月中旬くらいまでに繰り返し、確実に指導することで1年間の学習のルールが定着すると思います。

学年	内容
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・返事「はい！」を必ずする。</li> <li>・最後まで聞く。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物をさわらない 顔を上げて } 話を聞く → 反応をする</li> <li>・最後まで聞く { 子ども・・・前の人から座ってから 教師・・・話が終わって、子どもに尋ねる</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイム黙想(2分前着席をめざす)</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く側は体を向けて話を聞く。話す側は聞いている相手の見やすい位置に立つ(どちらも相手意識をもたせる)</li> <li>・はきはきした返事</li> <li>・子どもにしてほしい反応を教師が見せる。</li> </ul> <p>「あ～!!」 「なるほど!!」 「ん?どうということ?」 など</p>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習道具をきちんとそろえる(えんぴつ6本・赤えんぴつ or 赤ボールペン・直定規・消しゴム)</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2分前着席 → 1分前静かに待つ</li> <li>・忘れ物をしたら、前もって担任に告げる</li> <li>・授業スタートに3分程度、基礎基本定着の時間を作る</li> <li>・宿題は漢字(視写)、自学、プリント、音読、短日記</li> <li>・筆箱の中身・・・えんぴつ5本程度・赤ペン・青ペン・消しゴム・定規・ネームペン・マーカー</li> </ul>

裏面は、第1回校内研についてまとめています

## 第1回校内研から

今年度は第1回の校内研を始業式前に実施することができました。(先生方の事務作業の時間をいただき、ありがとうございました m(\_ \_)m) 始業式を前に学校や学年での取組の方向性がぼんやり見えたり、今年目標をもったりできた先生も多いのではないのでしょうか。

### ① 人権教育研修

昨年度の後藤先生のレポートを基に討議ができました。子どもたちを見る視点、「課題の子」をどうとらえるか、教師が子どもたちの関わりにどう介入するかなど、たくさんのことを学べる機会になりました。赴任したばかりの初任の橋口先生、山本先生が発言できたことにも大きな意義があると思います。多くの先生方が発言し、私たち職員も互いのことを知り合い、いろいろな価値観や考え方を得られる校内研になれば最高だと個人的に思っています。

レポートを発表していただいた後藤先生、司会の城先生、貴重な討議の時間をありがとうございました。以下、後藤先生の感想です。

「課題の子」についていえば、自分がその子の側に立つことができていたかを改めて考えました。学校では、たくさんの出来事が起こります。その中で「何が大切か」を常に問いながらまた子どもと向き合いたいと思います。報告しながら、昨年度の子どもの様子や自分の取組を振り返ることができました。それができたのは、たくさんの質問や意見のおかげです。ありがとうございました。

### ② テーマ研

今年度は始業式前に「平成30年度 4月版 室小授業づくり」を提案することができました。授業を行うにあたり、基本的なことを厳選しましたが…全て実践できれば子どもたちにとって学びの多い授業になっていると思います。

来週には、先生方が日々チェックできるように配布します。日頃のご自身の授業を見直す材料にしていいただければと思います。

討議の中で、「板書の統一をどうするか」という点がありました。私個人としては、板書の形式は先生方にお任せしたいと考えています。(もちろんめあてやまとめ等の明記は前提としてです)

理由は大きく以下の2点です。

- ① 先生方の個性を大事にしたい。
- ② 担任等が変わり、学習のしかたの変化に対応できたり、いろいろな学習のしかたを知ったりすることも子どもたちにとっては大切な学習経験となる。

若手の先生方は各学年部の学年主任の先生方などからたくさん学んでください。隙を見て、隣の教室の板書を盗み見するなど、学ぶ時間は毎日の中にあります。(昨年度は3年1組や2組に3組の太田先生がよく出没していました(^\_^))

研究発表もありますが、それよりも職員みんなで楽しく、前向きに学べる校内研になるように頑張ります。1年間研究主任としてがんばります！ よろしくお願いします。

